

のぞいてみよう！ せんだいの歴史

ゆかりの絵画編

たかがり図巻

― 絵を得意とした藩主吉村 ―

仙台市博物館 学芸企画室 大内直輝

第4回

今回は、仙台藩5代藩主伊達吉村（二六八〇〜一七五二）の作品、「たかがり図巻」について紹介します。

「たかがり図巻」は、縦二八・〇センチメートル、全長二八二・二センチメートルの絵巻で、武士のたしなみであり、吉村も愛好した鷹狩りの光景が描かれています。

「たかがり図巻」の場面について

掲載している図は、巻の冒頭で、田んぼでの鷹狩りの様子を描いた場面です。画面向かって右には、馬に乗った武士と従者が表されます。また、中央には獲物を追いたてる役の勢子や逃げる野鳥、それを狙う鷹の姿が生き生きと描かれています。さらに、左下に目を向けると、鷹を手に留めて身をかめる鷹匠の姿があり、その視線の先には鳥たちが田んぼや畔で憩う様子が見えます。

吉村の表現の工夫

画面に登場する人物や鳥は、いずれも細かく描かれており、彩色もしっかりと施されています。

しかし、それとは対照的に、風景はあまり彩色がされず、墨を基調にぼんやりと描かれています。画面右の小高く盛り

上がった丘や松には絵の具でしっかりと着色がされていますが、背景の多くを占める田んぼは、墨書きの線と墨の濃淡を主体としてシンプルに描かれています。この場面では、風景が水墨主体で表現されていることで、彩り豊かな鷹狩りの描写がより引き立っています。

吉村は、当時画壇の中心であった狩野派の絵師とつながりを持ち、仙台藩の歴代藩主の中でも最も多くの作品を残すなど、絵画に造詣の深い人物でした。この「たかがり図巻」でも、登場人物の細密な描写のほか、人物や鳥と風景とで異なった表現手法を用いて画面を構成しているところに、その技量が発揮されています。

今回紹介した作品の画像は、仙台市博物館ホームページの「収蔵資料データベース」二次元コードからご覧いただけます。



伊達吉村筆「たかがり図巻」(部分) 仙台市博物館蔵

刊行物のご紹介



「仙台市史」活用資料集vol.2～8

『仙台市史』の中から区ごとの歴史を取りあげ、コンパクトに紹介しています。仙台の歴史をさらに深く知るためのヒントが満載です。

- vol.2 若林区の歴史探し
- vol.3 泉区の歴史探し
- vol.4 宮城野区の歴史探し
- vol.5 太白区の歴史探し-西部-
- vol.6 太白区の歴史探し-東部-
- vol.7 青葉区の歴史探し-西部-
- vol.8 青葉区の歴史探し-東部-

各巻600円(税込)

A4 / オールカラー / 16ページ (vol.8のみ24ページ)

お求めはこちら

仙台市博物館 ミュージアムショップ

場所：仙台市博物館2階
営業時間：9:00～16:45
電話番号：022-226-8319

市政情報センター

場所：仙台市役所2階
開館時間：9:00～17:00
(土・日・祝・毎月第4水曜日休)
電話番号：022-214-1239



購入方法などの最新情報は、博物館ホームページでご案内しています

※「vol.1 授業で使える仙台の歴史余話」は完売しました。



【開館時間】9:00～16:45(入館は16:15まで)
【休館日】毎週月曜日(11/4は開館)、11/5
〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) TEL:022-225-3074

▶ 博物館ホームページ [仙台市博物館](#) 検索
▶ 博物館X(旧ツイッター) @sendai_shihaku